

11月の植物

ガマズミ ガマズミ科ガマズミ属

(学名 : *Viburnum dilatatum* Thunb.)

この時期、赤い実を多数着けている樹木が目を引く。その一つであるガマズミ、この独特の名前の由来は諸説ある。秋の時期の実を食べるとすっぱいため、「噛む酸実」から。材は鎌や鋤の柄として、実は赤い染料として利用されていたので、「鎌酸実」や「鎌染め」から。昔から食用として利用されていたので、神からの贈り物であるという「神つ実」から。他にもいろいろな説があるが、いずれにしてもはっきりしない。

この実は前述のとおり秋にはすっぱいが、寒くなると甘くなる。また、疲労回復等の健康によい効果があるとされ、青森県三戸町ではガマズミを栽培し、果実からジュースやお酒をつくって販売されている。

たくさんの赤い実が太陽の光を反射して光り輝くような様子を表現したのが「がまズミの実に太陽のひとつひとつ」(阿部みどり女)という俳句もある。

11月の例会場所である脊振山でも赤い実をたくさん着けた本種を観察できますので、実の様子やすっぱい味を確かめてみてください。(古賀保匡)



(撮影 古賀保匡 脊振山)